

下街道さんさくウオーク

第2回実施報告 (JR 釜戸駅～JR 瑞浪駅)

平成25年9月21日(土曜日)多治見観光ボランティアガイドは、「中部地域づくり協会」の補助を受け、東濃地区の発展に寄与してきた歴史ある「下街道」の再生により、町おこしの一助として活性化につなげることを目標に「街道歩き」を開始。中山道の榎ヶ根追分から名古屋伝馬町の札の辻まで約57Kmを7回に分けて歩き通す計画をたて、その第2回目 JR釜戸駅からJR瑞浪駅までの約10Kmを周辺の史跡を巡り約14Km歩いた。JR多治見駅を午前8時52分に電車に乗り、釜戸駅に47名が集合した。駅前で、みずなみかたりべの会、事務局長 可知正巳氏に前回同様解説と先導をおねがいをした。

街道筋は史跡も多く、また少しはずれた周辺にも見所が沢山見受けられた。鶴ヶ城跡入口を廻り、多治見池田町屋村の材木屋に生まれ後に宮大工として名を残した野村作十郎作の大黒天像を見学。台座から180センチと大きさにびっくり!! 白狐温泉でトイレ休憩、名滝稻荷神社境内の舞台で昼食、その後櫻堂薬師に立ち寄り、一日市場から瑞浪の駅に向かった。街道筋に金木犀が香っていた。



瑞櫻山法妙寺 櫻堂薬師 前で



2体の間が村境



名滝稻荷神社境内の舞台で昼食



暑い1日でした。

主催 多治見観光ボランティアガイド

協力 多治見市観光協会 国土交通省土岐川出張所

この事業は「一般社団法人中部地域づくり協会」の助成を受けています。